

△産業宣教/教授チーム主管 産業人の旅程(残りの者)(イザ1:9)	△レムナント伝道学 OMC 奨学生修練会 1 講 レムナントの旅程(イザ6:1-13)	△核心/ OMC 奨学生修練会 2 講 伝道者の旅程(残りの者)(マタ24:1-14)	△散らされた弟子たち/OMC 奨学生修練会 3 講 散らされた者の旅程(残りの者)(使11:19)
<p>もしみなさんがいなければ、大学には福音が入らないだろう(イザ1:9)</p> <p>□序論_福音を持っている教授の現住所(私の福音-私が必ず守らなければならない福音)</p> <p>1. 学問が産業、次世代とつながる</p> <p>2. 御座の祝福-この祝福を味わうときに来る三つのこと</p> <p>1) Only-ただ 2) Uniqueness-唯一性 3) Re-creation -再創造</p> <p>3. 未来-すでに持っていること</p> <p>1) WITH -神様のすべてを持っている。味わいなさい。</p> <p>2) Immanuel</p> <p>3) Oneness (計画) -みなさんがする、すべてのことが神様の計画を成し遂げるワンネスになる。</p> <p>JX-これを持って待てば来る。直接、イエス・キリストを説明しなかったのに影響が与えられる。</p> <p>□本論_次世代残りの者養成</p> <p>1. 絶対答えの主役-絶対答えはどこでもある。とても簡単なところにある。誰も知らない。もっとやりやすい。</p> <p>一生を置いてしなければならない絶対答えを見つけたこと(本文)</p> <p>1) 絶対主権を先に信じることだ。</p> <p>2) 絶対計画をいつも質問しなければならない。</p> <p>3) 絶対契約(答え)がくる。</p> <p>4) 絶対旅程(道)を行くことができる</p> <p>5) 絶対目標(いのち運動)が見える。</p> <p>2. 光に関する約束-生かすこと。やみに光を照らせば、やみの中にいる人々が来る。</p> <p>△福音を持っているので、この現住所の中で絶対計画だけ見つければ人々が光に出て来る。</p> <p>1) ソドム、ゴモラ-残りの者がいなければ</p> <p>2) イザ2:5 主の光に歩もう</p> <p>3) イザ6:13 この光の根がキリスト、そこから出てくる新しい芽がレムナント、切り株がみなさん</p> <p>4) イザ7:14 光の根源はキリスト、目的はインマヌエル</p> <p>5) イザ60:1-2 主の栄光があなたの上に臨んでいるので、光を放ちさえすればよい。</p> <p>3. 握ること <u>24、25、00</u></p> <p>1) イザ40:6-8 神のことは永遠に立つ。</p> <p>2) イザ40:10-26 (むなししいこと) -偶像に陥っている人々を救い出す、生かすこと 24 をしなさい。</p> <p>3) イザ40:27-31 神様が力を与えられる。</p> <p>(1) 残りの者-身分、権威 (2) 残る者-力</p> <p>(3) 残れる者-文化征服 (4) 残す者-次世代を生かすこと</p> <p>□結論_三種類すること</p> <p>1. 黙想運動モデル-私はどのように祈るか持っていれば良い。</p> <p>2. 霊的作品が出てくる。</p> <p>3. Think Tank になる。</p>	<p>△OMC 奨学生が必ず握るべきことは「私」の現住所だ。</p> <p>□序論_旅程 <u>祈りのシステム</u></p> <p>1. 御座の力を味わうには祈りのシステムを作り出さなければならない。</p> <p>2. 御座の力が臨めば神の国のこと(学業、職業、産業)が成り立つ。</p> <p>3. 目的 <u>神様の目的三つ</u></p> <p>既成世代が知らない、現場 Elite や指導者が見つけられないことを見つけた。</p> <p>△これが OMC 奨学生の現住所の「始まり」だ。</p> <p>□本論_私の旅程システムを作りなさい(いつでも、誰でも)</p> <p>1. 準備(イザ6:1) -御座の力を持って行きなさい。これが祈りだ。</p> <p>△私、現場、職業を御座化しなさい。</p> <p>2. 重要な背景</p> <p>1) セラフィム</p> <p>2) 問題、困難、大変な状況の中で神様の栄光が満ちていることだけ見れば良い。</p> <p>3) 主の栄光と能力、力が必要だ。(イザ6:4)</p> <p>3. 理由を知らなければならない。</p> <p>1) 当然、苦しみと遭うだろう。</p> <p>2) 権利までみな奪われるだろう。</p> <p>3) 聖なるすえ(区別された種)は残るだろう。(切り株、RT)</p> <p>□結論</p> <p>Exit-何から抜け出さなければならないのか分れば、</p> <p>Gate -本当に握らなければならない門が何であるかを知るようになる。</p>	<p>多くのことが起こるが「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」みなさんは問題を好きでなければならぬ。</p> <p>□序論_現場</p> <p>1. 奴隷、捕虜、属国、流浪(理由) -すべて道しるべ</p> <p>2. 解放-(内容)-時刻表 - どんな内容を握ったとき、神様は解放させられたのか</p> <p>3. ネフィリム文化(世界化)征服-世界化されているネフィリム文化を分かってこそ征服するので、私たちを呼ばれた</p> <p>△問題は更新の機会、限界を倒すこと</p> <p>□本論_現場旅程(2030~2080 主役)</p> <p>1. 変えること</p> <p>1) マタ1:18-25(キリスト) -昔も今も、これからも、私たちとともにおられるキリストの奥義は全く同じだ。鍵であるイエス・キリストの御名をいつでも使えば良い。</p> <p>2) マタ5:1-12(まことの幸い) -神の国があなたの相続地、その慰めを受けるだろう。</p> <p>3) マタ6:33(まことの祈り) -神の国とその義とを求めなさい。御座の祝福と力と背景、三位一体の神様を祈りなさい。繰り返してみなさい(集中)</p> <p>4) マタ10:1-42(現場) -現場はすべて衣食住しか知らないということを見せられた。</p> <p>5) マタ13(伝道) -私たちが持っている種はいのちであるから、大きなことに変わる。宝の畑、すばらしい値うちの真珠</p> <p>6) マタ18:1-10 ポジションのことを言う人はしばらく用いられる人</p> <p>7) マタ24:1-14(歩み) -福音が宣べ伝えられた後に終わりがくる。伝道者とレムナントの歩みは歴史を動かす歩み</p> <p>8) マタ28:1-15 苦難-キリストが十字架にかかれることによって、すべての苦難を終わらせられた。</p> <p>9) マタ28:16-20 権威-復活された主が、天と地の力でともにいると約束してくださった。</p> <p>2. 見つけこと</p> <p>1) カルバリの丘(始まり)-完了した。すべての問題は始まりだ。</p> <p>2) オリーブ山-待つ時刻表。方向は神の国</p> <p>3) マルコの屋上の間-まことの力を回復する、どんな問題きても勝つことができる祈りを見つけてなさい。</p> <p>3. 味わうこと</p> <p>1) 残りの者(悟るまで苦しみ、悟る瞬間、答え)</p> <p>2) 巡礼者(道を進まなければならぬと、すべてを超越)</p> <p>3) 征服者(暗やみ征服)</p> <p>□結論</p> <p>黙想運動 <u>霊的作品</u> Think Tank -黙想運動する霊的作品でこそ、ネフィリムを止めることができる。ネフィリムを生かすことができる霊的作品でこそ、世界福音化が可能だ。それをできる人が集まらなければならない。教授とともに次世代のための準備をしなさい。</p>	<p>□序論 <u>3・9・3</u></p> <p>考えていなければならないこと 3・9・3. このようになれば、</p> <p>1. 奴隷、捕虜、属国、流浪になった散らされた者の目標が見える</p> <p>2. 第1-5 RUTC 運動の目標が見える</p> <p>3. 非対面対面化(237、メディア)祝福によって散らされた者の主役(ヨハ16:24)</p> <p>□本論</p> <p>1. 始まり-時空超越</p> <p>1) 使1:14 時空超越の答えを持っている人々</p> <p>2) 使2:1-47 時空超越のこと</p> <p>3) 使3:1-12、8:4-8 どのように「その御名で」</p> <p>4) 使9:1-15</p> <p>5) 使11:19、12:1-25 「その日の夜に」</p> <p>2. ターニングポイント-御座の力</p> <p>1) 使13:1-4 御座の力から味わったところ、</p> <p>5-12 このことが</p> <p>2) 使16:6-10 御座の力を味わったので、</p> <p>16-18 古い師をいやす</p> <p>3) 使19:1-7 マルコの屋上の間起こった働きを受けたら、</p> <p>8-20 エベソに驚くべき働き</p> <p>3. 終着駅- 237 - 5000</p> <p>1) 使19:21</p> <p>2) 使23:11</p> <p>3) 使27:24</p> <p>□結論 <u>克服</u></p> <p>1. 学問、理論を超越する実力があるべき</p> <p>2. 思想、理念超越してこそ彼らを生かす</p> <p>3. 間違った教会 教会はキリストを御座化させる所</p>

△区域メッセージ 教会運動と私の 24(使 2:42、5:42)	△聖日 1 部礼拝 みことばによって私と世の中をいやそう(ヨハ 1:1-18)	△聖日 2 部礼拝 罪と呪い、災いの問題を解決しよう(ヨハ 1:19-34)
<p>△区域メッセージ 教会運動と私の 24(使 2:42、5:42)</p> <p>御座、神の国、神の国のこと伝達 マタ 6:32-33</p> <p>△教会に対する正確なことを知るようになれば私の 24 が出てくる。 教会は御座の祝福が臨む影であり、神の国が成り立って、神の国のことを伝達することだ。それゆえ「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」と言われた。(マタ 6:32-33)</p> <p>□序論_危機 御座、神の国、神の国のこと伝達を知らないので世界教会危機</p> <p>1. 人中心-人中心に信仰生活すると、人に左右される。 2. 世の中中心-教会は世の中中心でなく、神様中心にしなければならない。 3. 思想中心-人が作り出した思想中心で信仰生活をするようになる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 教会の本質-三位一体の神様が臨在されるのだ。 1) 救い(1 コリ 3:16)-教会の本質を救いに置いたのだ。 2) 集い-救われた人の集いが教会だ。 3) 現場-私たちが行っている現場も教会だ。 4) 礼拝堂-私たちが集まる礼拝堂も教会だ。5) 天国-天国も教会だ。 2. 姿-正しい教会の姿が三つ出てきた。 1) マルコの屋上の間教会-ものすごいヘロデ神殿よりマルコの屋上の間がさらに正しい教会であった。 2) アンテオケ教会-宣教 迫害される人々が集まって完全に宣教する教会として建てられたのだ。 3) ローマ(1 コリ 16 章、コロ 4 章、ロマ 16 章) ローマ福音化をした 1 コリ 16 章、コロ 4 章、ロマ 16 章の人々が教会の姿だ。 3. 注意、見つけること 1) 注意-世の中こと(サタン 12) 教会の中にサタンの 12 の戦略を持って入ってきて創 3 章の私だけしか知らずに、私だけよくなって、私だけ成功すれば良いということがとても多い。 2) 見つけること私たちが見つけることは「ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊」だ。このことだけ祈りなさい。</p> <p>□結論</p> <p>1. 知識(みことば)-私も分からない知識が神様のみことばを通して臨む 2. 力(神の国)-自分も知らずに礼拝を正しくささげたが、神様の力が私に臨むことが神の国だ。 3. 証拠(証人)-教会が何か知って礼拝をささげたが証拠が起きて証人になるのだ。</p> <p>△人々に最も必要なのが「御座、神の国、神の国のこと、マタ 6:32-33」の祝福だ。ある日、神様のみことばが私と合えば働きが起り始める。さらに重要なことは、私たちの次世代、子どもにこの力を伝達しなければならない。幼いとき、この祝福を一度も見ないで外に出て行けば苦しみに遭う。</p>	<p>□序論_信仰生活を上手にする、答えられる方法</p> <p>1. 立派な人々だったが戦争、滅亡直前のローマとイスラエル 2. ヨハネ-このときに現れてヨハネ福音書を残した 3. イエス・キリストの御名「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」イエス・キリストの御名、ものすごいのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 永遠の御座の門を開ける鍵となる御名 1) 鍵となる御名 (1) マタ 1:23 イエス様の名前がインマヌエル (2) マコ 16:17 この御名で悪霊につかれた者をいやすことができる。 (3) ヨハ 14:14 神様が鍵をくださった (4) マタ 16:19 「天国の鍵をあなたに与える」 (5) ヨハ 3:16 「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された」恵みだ。 2) キリスト御名によって (1) ヨハ 14:16 「わたしの名で助け主聖霊をあなたがたに送ります」 (2) ヨハ 17:11 「わたしに下さっている主なる父の御名」 (3) 使 2:21 「主の名を呼ぶ者は、みな救われる」 (4) 使 3:6 「ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」 (5) 使 4:12 「天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていない」 (6) 使 9:15 「わたしの名を」 3) 万物を従わせる御名(ピリ 3:21)</p> <p>2. 私と世の中をいやす契約書の主役になる御名 1) その名は神様 (1) ヨハ 1:1 「この方は、神のとともにおられた」 (2) ヨハ 1:18 「父のふところにおられるひとり子の神」 2) その御名がみことば (1) ヨハ 1:1 「ことばは神であった」 (2) ヨハ 1:2 「初めに神とともにおられた」 (3) 黙 19:13 その名は「神のことば」と呼ばれた 3) その御名が光といのち (1) ヨハ 1:4 「この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。」 (2) ヨハ 1:9 「そのまことの光が世に来ようとしていた」 (3) ヨハ 1:10-12 「神の子どもとされる特権をお与えになった」 3. その御名は救いとすべての暗やみ問題を解決する証拠 1) イエス様の公生涯の働き-長血の女性、バルテマイ、ツアラアト患者、耳の間こえない者 2) ペテロの働き(使 3:1-12)-「ナザレのイエス・キリストの名によって」 3) パウロの働き(使 16:16-18)-「イエス・キリストの御名によって命じる」</p> <p>□結論</p> <p>1. 答えの特徴-少しづつしばらくあとでくる。 2. イエス・キリストの御名によって-朝(御座の力)、昼(権威)、夜(集中) 3. とりなし祈り-キリストの権威ある御名によって</p>	<p>人々はわざわざに陥っているので、これを解決しなければならない。まったくキリストを知らない未信者がキリストで答えを得て弟子になることが、みなさんに一人だけいても、他の答えが来る。新しく始めるというとき、この契約だけ握れば良い。神様は誰を用いられたのか。</p> <p>□序論_バプテスマのヨハネ 福音に答えを出した(すべてがくる) 荒野、声、バプテスマ</p> <p>△福音で完全に答えが出て福音の力を味わう人はすべてを生かす。</p> <p>1. バプテスマ-三つのことをなくすサイン(Sign)を与える役割をした 1) 原罪 2) のろい 3) わざわい-科学、医学が解決できないこと 2. 3 大危機を止める答えが来た。 1) ローマ-戦争だけ起こすローマを生かすこと 2) 属国になったイスラエル 3) 237 奴隷制度-これを作ったローマ 3. 民-福音で答えだけ出したが、民がぞろぞろ従った。 1) メシヤなのか 2) エリヤなのか 3) 預言者なのか △バプテスマのヨハネは「違う。私は彼の道を備えにきた」と言ってキリストを紹介した。</p> <p>マタ 11:11</p> <p>すぐれた者は出なかった。バプテスマのヨハネより偉大だ。実際にキリストに対する説明をしたバプテスマのヨハネ-序論 1~3 が完全に崩れた</p> <p>□本論_理由</p> <p>1. 未来を備える証人なのでバプテスマのヨハネより偉大。 1) AD70-イスラエル滅亡(福音を持っている人が世の中を生かし始め) 2) AD79-ポンペイ爆発(キリストの力でわざわざを止める者になること) 3) AD313-ローマ福音化 △「キリストですべてを終わらせなければならない」考えただけでも働きが起る。 2. 道を歩むべき人 1) 23 節 主の道を備えに来たバプテスマのヨハネ-みなさんは世界の道を歩まなければならない者 2) 29 節 イエス様を神様の小羊だと言ったバプテスマのヨハネ-みなさんはキリストを王の王、主の主として宣言する人 3) 水のバプテスマを授けたバプテスマのヨハネ-みなさんは火のバプテスマ、聖霊のバプテスマのお使い 3. 文化を変える人 1) 私たちは万人祭司(バプテスマのヨハネは祭司) 2) 私たちはすべての国の人々に(バプテスマのヨハネはイスラエルにだけ伝えた) 3) 私たちは霊的文化を変えて世界福音化する人</p> <p>□結論_キリストのくつのひもを解く資格もない。 △キリストの祝福をいつも聞くから分からない。みなさんに最も大きい問題をイエス・キリストの御名で祈ってみなさい。記録しておいて、答えを確認してみれば、みなさんがどれくらい重要な祝福を受けたかが分かるようになる。この体験を必ずしてこそ、暗やみに勝利する答えを次世代にも与えることができる。</p>